

2015.6.3 碓本岩男

## 1、まえがき

筆者は現在関西に住んでいるが、東京生まれの東京育ちである。母方の祖先をたどると会津若松出身になる。若い頃に、常磐湯本（いわき市）出身、福島市出身の友人がいたので、猪苗代のスキー場で遊んだこと、湯本温泉、飯坂温泉、土湯温泉に浸かったこと、夜の信夫山にドライブしたこと、など一応福島との縁がある。小学校時代には、相撲の信夫山の現役時代を見てもいる。

このこともあり、当方が原発関係者と言うことだけではなく、東日本大震災、福島第一原発の事故の東北、とりわけ福島県への影響については強い関心を持っていたが、福島県人の生の声を聞く機会も、情報を集める適切な方法も分からないでいた。

3年ぐらい前に、まったく違う目的での検索で、「福島信夫山ネコの憂うつ」というblogが引っ掛かった。

福島第一原発事故に関するデマ、風評、誇張、脅しなどで、福島壊滅を叫び、避難を強制する「反原発」派の発言、行動を記録しておくこと、正しい情報によりこれらデマなどを除染すること、を目的として、事故後の2011年6月6日から開設され、現在も続いているblogである。3年で150万アクセスを超えたとのことなので、4年となった現在では200万アクセスに届いていると思われる。

信夫山ネコを名乗る匿名のblogであり、語りがネコ調で読みにくい点があり、「反原発」派の主張への対抗上、汚い言葉も使われているが、しっかりとした調査と、内容の精査で多くの正しい情報を示してあり、「反原発」派がいかにかデマを流してきたかを、科学的、論理的に分かり易く説明しているのでこのblogを紹介したい。

## 2、信夫山ネコ（著者）の紹介

2011年6月6日の自己紹介で以下を述べている。（ネコ語は修正し、文章は少し要約している）

『福島県福島市の信夫山に住むネコです。

3月11日の原発事故以来、「福島市は放射能に汚染されて危険です！早く逃げて下さい！」と言われることがおびただしい。特に「反原発」「反核」の人たち、「みどりの・・・」という「環境派」から「福島はチェルノブイリの数倍の放射能汚染！」「数年後には子供が癌になります！」などがネットにあふれている。この人たちは「今が原発全廃のチャンス」と思って盛り上がっているのだ。根拠の怪しい「早く逃げて下さい！」は無責任だ。「反原発」の人たちが、「福島が壊滅すれば、原発を全廃できる」と思って嬉しくなっていて、科学的根拠が薄い大げさな数字を挙げていないことを祈っている。

友だちはネットで「早く逃げて下さい!」「子供を殺す気ですか!」「チェルノブイル以上です」なんていうものばかりを見て、うつ病気味になっている。こんなネットの書き込みのために、福島に来る人は激減、客商売は壊滅的状况だ。こんな書き込みのために、例えば旅館経営者が自殺なんてしても、ネットで叫んでいた人たちは誰も責任をとってくれない。

ネコには逃げる場所なんてない。「福島は住めなくなったけれど、原発は全廃できた」は「反原発」の人にとってはいい結果かも知れないが、ネコは困る。

ここに住み続けるしかないから、福島の人々の不安の原因＝デマ、誇張、誤報などを自分で「除染」することにする』

信夫山に住むネコと匿名にしているが、この著者は、多くの文献を調査し、科学的根拠を明らかにして、デマに対して論理的に反論（除染）している。海外文献、記事にも目を通し、英語、ドイツ語の文献も和訳して紹介している<sup>(注1)</sup>。著者を推定しても意味はないが、語学にも堪能であるように思え、知的レベルが高いと感じる。匿名であっても信頼のおける発言（記事）になっている。しかも、2011年6月という、日本中が「反原発」一色で、ネットでも多くのデマが飛び交っていた時期に、福島住民でありながら「反原発」のデマと対峙しようとした覚悟もすごいと思う。

(注1) 2011.7.20 ECRR は EC、欧州議会と関係ない。また ECRR のバズビー氏は「英政府の委員」ではない。

2011.9.28 8月10日＝ZDFのクズ番組「フロンタール 21」ドイツ国内放送日翌日、中手聖一氏がドイツ・フライブルグ市で語ったこと

### 3、記事の紹介

2011年6月から2年ぐらいの履歴を追うと、正義、善意を装った「反原発」派のデマのひどさ、それと同じような内容を書き続けた朝日新聞、毎日新聞、週刊誌の報道のひどさ、福島県人の不安に付け込んだ悪辣な商売をした知名人などが良く分かる。

2011年6月6日の最初の記事は「静岡に避難した福島の小学生が死亡」というネットで拡散したデマについてである。2011年6月～2012年5月までの1年で71件もの記事を書いている。この1年の主な記事は以下の通りである。(筆者の勝手な抽出である)

2011.06.16 「小出裕章氏の『外部被曝の10倍内部被ばくします』は本当か？」

2011.06.20 「現在福島市の空中に放射性物質はほとんど飛んでいない」

2011.06.28 「『やっぱりデマが好き』なグリーンピース」

2011.07.02 「『山下俊一氏解任署名』はしません。『きな臭い』からね」

2011.07.14 「『放射能を恐れすぎるな、フクシマの危機は過ぎた』とアルチュニャン博

士は言う」

- 2011.08.16 「福島から『科学』を発信するブログを見つけた もう『ECRR なんか怖くない』」
- 2011.08.29 「『山下俊一氏解任署名』の結果はたったの 6607 解任は不可能」
- 2011.09.11 「9.11=『反原発』による『多発デマテロ』開始から半年の福島で自殺者増加『反原発』の嘘・デマが福島人を自殺に追い込んでいる」
- 2011.10.26 「終焉に向かう『反原発』（1）大阪で『反原発』が『福島の子ども』の『エア葬式』を開催
- 2011.11.24 「終焉に向かう『反原発』（2）英紙『ガーディアン』のバズビー師批判
- 2012.12.08 「終焉に向かう『反原発』（3）『反福島カビプリン』早川由紀夫師に訓告処分」
- 2011.12.29 「『葬列予報』と『子ども』福島 そして『自主避難者』への『補償』について」
- 2012.01.08 「NHK のデマ番組を『追跡！』していたら、『自主避難者』出演番組まで見てしまった。危険な NHK の『没論理』路線（1）」
- 2012.01.12 「NHK『低線量被曝 揺らぐ国際基準』について 『あいんしゅたいん』坂東昌子理事長の疑問点」
- 2012.01.15 「終焉に向かう『反原発』（4）バズビー・サプリ戦線異常あり！」
- 2012.01.24 「『3.11 福島バスツアー』～郡山の『安積咲』さんの怒りでフクシマ瑞穂氏『炎上』！」
- 2012.02.23 「沖縄への『自主避難者』が青森の雪を『放射能が危険』と騒いだ 狂気が日本を潰す？しかし良識が巻き返した」
- 2012.03.09 「週刊文春デマ記事『自主避難の子どもに甲状腺ガン』の最大の被害者は山下俊一氏」
- 2012.04.13 「原発事故 10 年後のベラルーシと、今の福島を『比較』する松本市長って、気は確かか？」
- 2012.04.29 「2011 年 4 月放送 NHK『放射能の不安に答える』は『追跡！真相ファイル』と正反対だった あまりにも無責任な『公共放送』
- 2012.05.12 「江川紹子さんの『上杉隆に対する公開質問状』は『福島の話聞こう』の大きな成果」
- 2012.05.22 「福島に朗報！MIT の新研究『私たちは予言します 避難せずに福島に残った人に過剰な DNA 損傷は起こらない』」

2年目の2012年6月から2013年5月まででは54件の記事で、主な記事（筆者の抽出）は以下の通りである。

- 2012.06.11 「『北九州市瓦礫持ち込み反対運動』で『中核派』が『犯行声明』」

- 2012.06.12 「中手聖一氏の『札幌テレビ』仰天番組&『週刊プレイボーイ』デマ記事に見える『反原発正義軍』の次の作戦」
- 2012.06.15 「朗報！福島の流産や中絶は増えていない 菅谷昭・松本市長は『水面下で中絶増』発言を謝罪していた」
- 2012.07.03 「NHK『低線量被曝 揺れる国際基準』 6/28『エネルギー問題に発言する会』がBPOに新たな『審議要求』」
- 2012.07.14 「『線量ゼロの子でも被曝』＝朝日新聞は日本の『痴性』？ 一方 河北新報『甲状腺被ばく量半減 弘前大調査』我々はいくら『内部被曝』したのか」
- 2012.08.10 「この夏『反原発』による『福島いじめ』デマが暑苦しい 追記：ホテルは $0.5\mu\text{Sv/h}$ を超えると光らない？ホテルはケララ州の名物だぞ」
- 2012.09.24 「朝日新聞『今でも避難したい 福島市民の34% 市調査』は己の罪を隠す不思議な記事」
- 2012.10.03 「福島の甲状腺調査 『見つかった甲状腺ガン』は原発事故前からあった」
- 2012.10.23 「朝日新聞 10/10『自主避難への理解』は事実が隠された『印象操作』記事」
- 2012.12.09 「阪南大学準教授逮捕！なぜかあの卑劣な『葬式デモ』の関係者が続々タイホだ」
- 2012.12.30 「『反原発正義軍』のブーヘンヴァルト＝『御用学者リスト wiki』閉鎖の背景を見る」
- 2013.02.07 「武田邦彦『2011年5月から言っているとおり～』は大ウソ いよいよ自主避難者『梯子外し』開始か？（1）」
- 2013.02.28 「まだ続く 毎日・アサヒ新聞の卑劣な『福島攻撃』を記録しておくのだ」
- 2013.03.07 「WHO報告書『観察可能なガン率の増加は予想されない』 しかしアサヒ新聞は『甲状腺がんリスク増加』と捏造」
- 2013.03.13 「緊急！時事通信『死者いないはうそ＝福島大教授、原発事故の影響訴え』は誤解を招くトンデモ記事」
- 2013.04.06 「山下俊一先生ありがとう でも長崎大学『福島復興担当副学長』でまだまだお世話になっちゃいます」
- 2013.04.15 「福島の子どもの内部被曝はほとんどなし『大報道』早野・坪倉・宮崎先生ありがとう！」
- 2013.04.19 「山形県庁が『原発事故による放射性物質の有無に係らず』福島の土持込拒否だと 福島人激怒&悲嘆 ふざけるな」
- 2013.04.27 「ついに福島県立医大が毎日新聞に抗議！！！注目しなければ」
- 2013.05.27 「祝！予言的中 福島県人口増 そして信夫山ネコは100万アクセス超だ」
- 2013.06.04 「国連科学委員会『福島はチェルノブイリではない』はよかった」
- 2013.06.06 「相変わらず福島をデタラメで脅す『朝日』&『デマ学者』もうやめてくれ」

3年目の2013年6月から2014年5月までに29件、4年目の2014年6月から2015年5月までに22件と、デマ、誇張、誤報の減少に伴い記事の数は減ってきているが、デマは今もなくなっていない。

最近の1年では漫画「美味しんぼ」、NHK番組「NHKスペシャル・メルトダウン File.5」及び「NHKスペシャル・38万人の甲状腺検査」を扱った以下の記事などがある。

- 2014.04.28 「風評被害者『美味しんぼ』本日炎上&福島で毎日新聞が40%も『激減』の衝撃」
- 2014.12.25 「ニュースと偽って『番宣するNHK こんなネタ切れクズ番組よりトンデル氏の説を訂正せよ』」
- 2014.12.29 「雁屋哲＝ストーカー？&福島医大がNHKスペシャル『38万人の甲状腺検査～被ばくの不安とどう向き合うのか』に抗議！」

#### 4、まとめ

福島第一原発事故に関するデマ、風評、誇張、脅しなどで、福島壊滅を叫び、避難を強制する「反原発」派の発言、行動の記録と、正しい情報によりこれらデマ等を除染する目的で、事故後の2011年6月6日から開設され、現在も続いている「福島信夫山ネコの憂うつ」というblogを紹介した。

事故から4年以上経っていても、このblogで示されているような事故後の多くのデマ、危険を煽り続けた報道の影響は、今も福島県人だけではなく日本人の多くに残っている。一度拡散してしまったデマを収束させるには長い時間が掛かってしまい、その間、不安に苛まれて健康を損なってしまう人もいる。

デマをばらまいた人は、正義を語り、表現・報道の自由を語り、ほとんどの人がデマの訂正も、健康被害に合った方々への謝罪もしていない。

人には色々な考えがあり、「反原発」を主張することは責められることではないが、「反原発」を主張するために、デマ、誇張、脅しを手段とすることは許されることではなく、責められるべきことである。

現在も、原発再稼働に係る報道で過度に危険性を煽る記事、番組も多くある。少なくともネットではまだデマを発信している。

事故後4年も過ぎているので、真実を報道せずに危険を煽る報道をすることが、健康へのリスクを増加させることを、報道人は勿論、日本人の多くも理解できる時期に来ているのだと筆者は思うのであるが。

以上